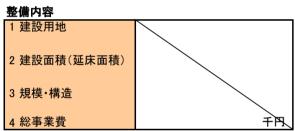
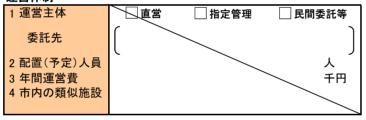
# 事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

	コード		名	称		区分	コード		名	称				
事業名	106	関而太線:	電化促進事業			会計	01	一般会計						
于木石	10	为口个家	电记促延节末			款	02	総務費	総務費					
基本	49	ch +武 (4/15)	道路・交通環境を	た数供する		項	01	総務管理費						
施策	49	ム場のる	旦的 又迪琼克	5年11月9日		目	06	企画費						
施策	4	い間亜十				細目	102	地域振興経費						
池 束	4	の内別四本	- 豚・リスキー・豚の	金洲灰连		細々目	16	関西本線電化化	足進経費					
基本	計画該	当頁		176		行革大綱	の重点	点事項番号		7				
担当部課	コード		040100 企画調整課			評価者		増田 基生	連絡先	22 -	9621			
担当即誅	名称					氏 名		垣田 基工	) 建裕元	(内線)	2115			

事業	の計画	内容									
			対象等(何	を、誰を)		成果(どうなるのか)					
事業目的	鉄道事 町、関(		間西本線利用者 等	および市民、国	国、県、沿線市	市内外移動の利便性が向上し、交流人口が増加する。また、環境 に配慮した交通政策を周辺自治体と継続して粘り強く事業者へ要 望していくことで、関西本線の近代化、接続の改善などが図られ る。					
101	hn \_ \_ \		(※対象件数		)	•					
	処法令・			ı	1						
	始年度	平成	年度	関連事業							
終	了年度	平成	年度	因是手术							
事業内容	西関 の 別 R 関 多 の 関 り の 関 り の り の り の り の り の り り り り り	旅客線 線 望活動 本の要	亀山間複線電化 首への要望活動 電化促進連盟(東 ホームページによる 化を進める会(光 望活動、時刻表( 整備促進期成同	、時刻表作成 に海旅客鉄道 るPR、促進大 か線ウォークの 作成等)	等) 及西日本旅客鉄 会開催等) )実施、西日本旅	道状況	複線電化を求める要求だけでなく、接続の改善や直通列車の復活といった視点からの運動にも取り組みを展開して、関西本線のPRを進めている。また、沿線団体と連携してウォークを中心とした行事を実施して利用促進を図っている。				



# 運営体制



事業種別 継続 単独 事業類型 I ソフト事業

# 事業宝績

活動指標	単位	実	<b>績値</b>	目標値			
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	単位	H19	H20	H21	H22		
要望等活動回数		目標 4	目標 4	4	4		
安主守凸到凹奴	Ш	実績 4	<b>実績</b> 4	4	4		
ウォーク実施回数		目標 —	目標 —	2	3		
フォーク天旭回数		実績 2	実績 1	J	J		
		目標	目標				
		実績	実績				

2次評価対象分

## 評価指標

11							
事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実統	漬値	目標値		
争未の成未で則る指標	指標設定の考えり	丰世	H19	H20	H21	H22	
要望等活動回数	鉄道事業者及び県などへの働きかけが整備		目標 4	目標 4	1	4	
女主守伯刬凹奴	促進の糸口を作ることになる	ш	実績 4	実績 4	4	4	
	鉄道沿線でウォークを開催することにより、	ı	目標 —	目標 —	500	500	
ワオーグ参加省数	鉄道の利用促進を図る	^	実績 350	実績 430	300	500	

拉佈

評価		
評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	大阪・名古屋への直通列車を再開するには電化が不可欠であり、その実現に向けた運動を継続して行う必要がある。また、JRは県の姿勢を重視しており、沿線自治体が結束した運動の継続が欠かせない。
有効性	4	まずは、現在の関西本線の需要を喚起することが重要であり、アプローチの角度を複線電化一本から見直しが必要。JR への要望活動及び地域での利用促進活動を継続して行っているが、複線電化については見通しが立たない。
達成度	4	従来、西日本旅客鉄道へのみ実施してきた要望活動を20年度は東海旅客鉄道へも実施した。
効率性	3	19年度に比べて金利が少しずつ上昇しているため、基金利子積立金の増が想定され、予算額全体としては額の増加が生じる。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
Α	現状維持	利便性を向上させるために、目標を電化に絞って活動を続ける。

	年度			平成1	平成19年度 決算内容		平成20年度 決算内容				平成21	年度 計	画内容		平成22年度 計画内容			F	平成23年度	平成24年度 計画内容				
	十段			事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量	単位	金 額	事業内容	数量単	立 金	額	事業内容	数量	単位 🖸	金額	事業内容 数量	全 額	事業内容	数量 単位	金 額
H	É						(千円)				(千円)				(千円)				(千円)		(千円	1)		(千円)
^	委託			関西線整備促進				関西線整備促進				関西線整備促進			I	関西線整備促進				関西線整備促進		関西線整備促進	<u>É</u>	
技	ᅣ			要望等旅費	ř		29	要望等旅費	:		48	要望等旅費			68	要望等旅費			85	要望等旅費	8	5 要望等旅費	ŧ	85
			争	利用促進時刻表等	F		223	利用促進時刻表等			99	利用促進時刻表等			200	利用促進時刻表等			200	利用促進時刻表等	20	0 利用促進時刻表	等	200
北	も 工事		未	奈良亀山同盟会負担金	È		40	奈良亀山同盟会負担金	:		30	奈良亀山同盟会負担金			30	奈良亀山同盟会負担金			30	奈良亀山同盟会負担金		奈良亀山同盟会負担:	<b>±</b>	30
			一次	促進連盟負担金	È		45	促進連盟負担金	:		20	促進連盟負担金			20	促進連盟負担金			20	促進連盟負担金		0 促進連盟負担金	È	20
1	7		7 7	進める会負担金	È		50	進める会負担金	:		50	進める会負担金			50	進める会負担金			50	進める会負担金	į	0 進める会負担金	È	50
				県鉄道網整備促進同盟会負担金	È		59	果鉄道網整備促進同盟会負担金	È		27	県鉄道網整備促進同盟会負担金			27	果鉄道網整備促進同盟会負担金			27	県鉄道網整備促進同盟会負担金		7 県鉄道網整備促進同盟会負担	金	27
				基金(利子)積立金	:		796	基金(利子)積立金	1 1		647	基金(利子)積立金			628	基金(利子)積立金			624	基金(利子)積立金	62	4 基金(利子)積立金	ž	624
	進捗率		1					その他			6	その他			72 -	その他			70	その他	-	0 その他		70
	(%)			事業費計(A)		Σ	1,243	事業費計(A)		Σ	927	事業費計(A)	Σ		1,095	事業費計(A)		Σ	1,106	事業費計(A)	Σ 1,10	6 事業費計(A)	Σ	1,106
		事業投入人員		人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B)	0.4	Į.	2,880	人件費(B)	0.4	人	2,880	人件費(B) 0.4	人 2,88	0 人件費(B)	0.4 人	2,880
	フルコスト (A)+(B)						4,123				3,807				3,975	·			3,986		3,98	6		3,986

## 事業費(人件費除く)の財源内訳

	Carried Charles Charles and Carried Charles Ch						
(A	事業費	1,243	927	1,095	1,106	1,106	1,106
	国庫支出金						
A	県 支 出 金						
(J)	地 方 債						
河	受益者負担						
内	その他	796	647	628	624	624	624
訳	一般財源	447	280	467	482	482	482
	計	1,243		1,095		1,106	1,106
/ <b>#</b>	その他特定財源の名称・補助基本額・	基金利子(793)	基金利子	基金利子	基金利子	基金利子	基金利子
1/用		募金(30)					
75	地方債の区分と充当率等						